

Ibara City Hospital

井原市立 井原市民病院

診療科目
 内科・外科・整形外科・眼科
 泌尿器科・放射線科・耳鼻咽喉科
 リハビリテーション科・婦人科
 小児科

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地 TEL.0866-62-1133 FAX.0866-62-1275 E-mail:byoin@city.ibara.okayama.jp 発行責任者/原藤 和泉

2010年を迎えて 院長 原藤 和泉



市民病院の運営につきましては市民並びに職員各位には格別のご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は我が国の政治が大きく変動した年でありました。

新政権には国民の期待も大きく、とりわけ国民の安心・安全を守る医療・福祉・年金の社会保障の安定・充実をしっかりと行っていただきたいと思っております。

特に医療については、全国の自治体病院は、医療費の抑制と医師不足や医師の地域偏在、更に勤務医の過重労働などで看護師不足も相まって地域医療の崩壊とまで言われており、新政権が地方の医師確保対策でより実効性のある取り組みをされますことを期待しています。

一方、当市民病院が置かれている状況であります。全国と同様の地域医療環境にあり、医師確保には全力で努力いたしておりますがめどが立っていないのが現状であります。当面確保できた医療資源に見合った診療体制で乗り切っており、大変厳しい現状には変わりありません。市民の皆様にはこの現状をご理解いただきたいと切に思うところであります。

しかし、そのような中ではありますが、自治体病院の使命はその地域に不足している医療を補い、地域の医療機関や行政機関等との連携を取りながら、住民の健康の維持・増進を図り、地域貢献を使命としております。

今後とも、職員一同この使命感を持って市民の皆様によりよい医療サービスを目指してまいりますので、引き続きご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

市民病院・院内保育所開園にあたって 市民病院 事務部長 佐藤 純士

日ごろは病院事業にご協力ご理解いただきありがとうございます。

さて、待望の院内保育所が開園いたしました。ご存じのとおり自治体病院の医師や看護師等の医療従事者の人材不足は全国的なことではあります。市民病院といたしましても人材確保対策の一つとして、院内保育所整備を進めて参りました。その院内保育所が、平成21年12月28日に愛称を「まいづる保育園」として開園いたしました。園名は、この市民病院の西側に「舞鶴山」が位置しており、その麓には昔から舞鶴公園や対鶴公園等の名称で地域では愛し親しまれており、その名称にあやかり園名を「まいづる」としたものであります。

さて、この院内保育園ですが、場所は市民病院敷地内の研修会議棟の1階を改造しています。面積は108㎡、保育室は幼児室と乳児室の2部屋です。収容定員は20名で、受入対象者は0歳児から小学校就学前の乳幼児です。保育日は、月曜から土曜日の週6日間で、保育時間は7:30から19:00までとし、延長保育は20:00までで一時保育も実施します。院内保育の運営は全て保育専門業者へ委託しています。なお、開園当初は4名の園児が入園しますが、その後も入園希望が多数寄せられています。現在出産した職員より「早期職場復帰を検討している。」とのうれしい声も聞いているところであります。

ともあれ院内保育所の開設目的は、安心して働きながら子育てができる職場環境づくりと医師・看護師等の医療従事者不足に歯止めをかけることが狙いでありました。市民病院ではとても期待を込めております。更には、医師不足解消の一つとして女性医師確保への波及も期待するものであり、大学をはじめとした関連医療機関にしっかりとPRして参りたいと思っております。

今後は、この素晴らしい院内保育所があることで産後の職場復帰への手助けとなり、併せて保育のいる方は定時以降での職場研修や緊急時などでも安心して利用可能となりました。職員の皆様には末永く愛する施設としてご利用いただき、また市民の皆様には市民病院が地域の中核的病院として益々発展することを強く祈願しております。



機能評価更新に向けて

看護部長 平井 千枝子

新たな年を迎え、心改まる思いで今年目標を立てられた事と思っております。さて、早々に機能評価更新（V6）に向けて、追い込みの時期となりましたが、なかなか志気が上がらないのが現実です。

初回（V4）の機能評価受審の時は、病院の建て替えの最中でした。

「建物だけが新しくなったが、職員は変わらないではなく、内容がすこしでも充実して来た姿を分かってくには如何すれば？？それには機能評価しかない」との思いが受審のきっかけとなりました。職員全体の連携を取らないと問題が解決していかない事に気がつき、時間のやりくりと、会議の場所取りに紛争しながら、終わった時にはお互いに頑張り成し遂げた満足感で一杯でした。

しかし受診したらそれで終わりではなく、その後改善点の取り組みを継続している所に意義があり、その結果地域の皆様に信頼し安心していただけていると思っております。

また機能評価の更新により、病院の目指している姿を職員全員が理解して、再度一丸となって頑張りたいと思っております。

ボランティアひまわりの皆さん... ありがとうございます



これは、ボランティアの皆様が一株一株丁寧に植えてくださっています。

毎回本当にありがとうございます。

正面玄関入り口前の花壇をご覧になったことがありますか？季節ごとにいろいろな花が咲いているんです。



井原市民病院基本理念

1. 患者の権利を尊重し、情報提供によって患者が納得出来る医療を行い、地域住民に信頼される病院を目指します
1. 医学の進歩に相応した高いレベルのしかも安全管理が行き届いた医療が行えるよう、日々研鑽に励みます
1. 地域医療体系の一環として相互の連携を密にし、機能分担を考慮した効率的な医療を提供します
1. 医療を受ける側の身になって考え、暖かい心の手を差し伸べることを忘れません

井原市民病院職員の誓い

1. 私たちは、市民の生命（いのち）と健康を守り、心のこもった診療をいたします。
2. 私たちは、質の高い医療を目指し、日々研鑽いたします。
3. 私たちは、病める人の身になって考え、最善の理解者となるよう努力いたします。

外来化学療法室のご案内

井原市民病院では、H20,5月より外来化学療法室を開設しました。安心して、安全な治療が受けいただけるよう、専任スタッフ一同努力しています。どうぞよろしくお願いたします。

- Q1, 「外来化学療法室」って何をするとところ？
外来通院で、抗がん剤による治療を受ける方が利用する部屋です。専任スタッフが治療中そばにいますので、いつでも質問や相談を受けることができます。
- Q2, 「外来化学療法」のメリットは？
今まで通りの日常生活を続けながら、治療を受けることができるので、自分らしい生活を維持することができます。
- Q3, 治療後、自宅や職場で注意することは？
患者さまやご家族へ、治療の内容によって、日常生活の注意事項や、副作用への対処方法などをその時の状況に応じて、説明します。
- Q3, 入院治療から外来通院へ変わる時は？
外来化学療法室の専任看護師、薬剤師が、患者さまの退院前から退院後の生活や、外来通院へのオリエンテーションを行います。
- Q4, 化学療法を地元（家の近く）の病院で受けたい。
各診療科へご相談ください。



化学療法室



化学療法委員会メンバー

健康教室のご案内

院内では毎月1回どなたでも気軽に参加いただける健康教室を開催しています。今後の予定をお知らせいたします。

- 第25回1月22日(金) 「検査結果はどう見るの」 臨床検査技師
「足の手入れ」 看護師
- 第26回2月26日(金) 「骨を丈夫にするヒント」 管理栄養士
「目の疲れについて」 視能訓練士
- 第27回3月26日(金) 「未定」 薬剤師
「未定」 看護師



正面玄関ホールにて 午前11時から12時 参加は自由です。皆様振ってご参加ください。

NST (栄養サポートチーム)

地域栄養研究会 活動紹介

当院では、平成17年よりNST (栄養サポートチーム) 委員会を立ち上げ、多職種で栄養ケアを行う専門チームとして入院中の患者様に適切な栄養管理を行う活動をしています。平成19年には日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設に認定されました。その活動の一環として院内のみに限らずその活動の輪を地域へ広げ、当院との連携を図るため、平成20年4月より「地域栄養研究会」を立ち上げました。活動内容は、栄養についての情報提供を行う勉強会や意見交換の場として懇談会などを企画し、2ヶ月毎にNSTメンバーで勉強会の資料作成、講師を務める手作りで会の運営をしています。



現在地域のご施設のスタッフの方を中心にご参加頂き、開催回数10回目を終了しました。平成22年からは居宅介護サービスのスタッフの皆様へ声をかけさせて頂き、地域の皆様へ栄養ケアを通じて健康の保持増進に努めていきたいと思っております。

医療安全管理室

昨年2月より、医療安全管理室を設置しました。

この管理室では、安全管理体制の構築、医療安全に関する職員への教育・研修の実施、情報収集などを行い、患者だけでなく、職員においても、安全で安心できる医療を提供できるよう取り組んでいます。

昨年は、弁護士を招き研修会を行いました。



職員短信

平成21年10月1日より、リハビリテーション科でお世話になっております佐野と申します。まだまだ未熟な私ですが、一生懸命頑張りますので皆様よろしくお願いたします。

私は小学生の頃からサッカーをするのが大好きでした、でも今はプレーそっちのけでフジアーノ岡山の応援に生きがいを感じています。みなさんも一緒に地元岡山のプロサッカーチームを応援しましょう。

突然ですが、みなさん「ロコモ」を知っていますか？ハワイ料理の「ロコモコ」ではありませんよ。「ロコモ」とは、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の事です。骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えると生活の自立度が低下し、要介護状態になったり、寝たきりになる可能性が高くなります。

運動器の障害のために、要介護になる危険の高い状態がロコモティブシンドロームです。下図のロコチェックでひとつでも当てはまれば、ロコモである心配があります。も積極的にいきましょう。毎日、少しずつロコトレを行い、衰えないBODY、折れないBONEを作りましょう。

- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難
- 家のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろし)が困難
- 家の中で躓いたり滑ったりする
- 片脚立ちで靴下が履けない
- 階段を上るのに手摺が必要
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない



佐野裕和

今日からロコモーショントレーニング(ロコトレ)を始めましょう。ロコトレの基本となる運動に開眼片脚立ちとスクワットがあります。

開眼片脚立ち

片方の脚で、左右1分間ずつ立ちます。この方法が困難の方は、机に両手をつけて、片方の脚で立ちます。できるようになれば、指だけを机につくなど支えを減らしていきます。

スクワット

通常のスクワットを5-6回繰り返し、1日3回行います。スクワットが困難な方は、机に両手をつけて椅子からゆっくり立ち上がり、ゆっくり座ることを繰り返します。できるようになれば、指だけを机につくなど支えを減らしていきます。

この2つの運動とともに、その他のロコトレ(ストレッチ、ラジオ体操、ウォーキングなど)も積極的に行いましょう。毎日、少しずつロコトレを行い、衰えないBODY、折れないBONEを作りましょう。

ボランティアコンサート



崎谷由佳利さん
トランペットコンサート



「モコ&ソング」の皆様
クリスマスコンサート



大正琴とギターのアンサンブル



山本さんのピアノ演奏

素敵な演奏をありがとうございます。これからもご協力よろしくお願いたします。

お疲れナースの旅行記 第2弾 in イタリア……コラム

7月に観た映画に触発されて、10月イタリアに行って参りました。

出発の日、胸躍らせ成田に着いたその時、いきなり飛行機の機材トラブルで出発が10時間遅れるといわれ、とても凹みました。

現地時間で、夜中の3時イタリアに到着。少しホテルで休んでから、いよいよ観光開始です。まず訪れたのが、ミラノの大聖堂です。あの荘厳なたたずまいを目の当たりにし、始まったばかりの旅に期待がふくらんだ事は言うまでもありません。

ミラノ、ベネチア、フィレンツェ、ナポリ、ローマを巡る6日間。これほど、興奮しそして感動した時間は人生始めて以来と言っても過言ではありません。

美術の教科書で観た絵画や世界遺産の街並み、絶品のパスタやピッツァ。



3F病棟看護師 藤井亜弥

振り返ったところに歴史がありロマンを感じました。また、幸運にも青の洞窟も体験、ナマで観たあの美しい青色を忘れることは無いでしょう。

添乗員さんに聞いて、カタカナのイタリア語で、果敢にイタリア人に話しかけました。エアメールを送る為に、切手を買ったのですが何とか通じたみたいで後日無事に絵葉書が届いたことも思い出の1つです。

旅行からもう3ヶ月が経ちますが、気を付けて見るとイタリアを舞台にした映画は多くて、自分が行った場所を映画の中に見つけることが出来ます。またその度に、楽しかった旅行の事を思い出します。

イタリアまで12時間、なかなか行ける所ではありませんが、快く送り出してくれた両親と病棟スタッフに感謝しています。